

紙及び板紙－吸水度試験方法－クレム法

正 誤 票

区分	位置	誤	正
本体	6. b)	備考 200 mm 以上の長さの試験片を採取できない場合は、可能な限りの長さを取り、紙の断面同士をすき間がないように密着させて、吸水性がなく、かつ、疎水性のフィルムなどの材料を裏当てしてステープラでつなぎ、必要長さを確保する。	備考 200 mm 以上の長さの試験片を採取できない場合は、可能な限りの長さを取り、水に対して不活性な支持体(疎水性のフィルムなど)にステープラでつなぐことが望ましい。
附属書	6. b) 備考 (IV) の技術的差異の内容欄	JIS は b) に備考 (紙の断面同士をすき間がないように密着させて、吸水性がなく、かつ、疎水性のフィルム等の材料を裏当てしてステープラでつなぎ、) を追加。	JIS は b) に備考 (水に対して) を追加。同じく [(疎水性のフィルムなど)] を追加。

平成 18 年 9 月 1 日作成